

生命と人間を考える研究会 (SLH研究会)

2015.09.13 代表幹事 高東 嘉毅
Tel/Fax : 078-272-0284 (たかとう)
Mobile : 090-1719-6301 (留守電に)
E-Mail : yoshiki_takatoh@yahoo.co.jp

概要： 略称「SLH 研究会」は、神戸大学医学部名誉教授の岡田安弘先生を顧問に、毎月1回土曜日の午後に兵庫学習センターで、生命科学の講義と宗教・哲学のテキストを輪読しています。ヒトとは何か、どのような機能と構造を持ついきものなのかを、生命科学の面から学びます。またヒトの精神や倫理は何を拠りどころにしているのか、ヒトはなぜ生きるのかを哲学や宗教の面から問いかける、サークルです。前半の第1部生命科学と後半の第2部哲学と宗教に分けています。

会費は6カ月2,000円です。テキストは個人で購入して頂きますが、資料はコピーしてお渡しします。

例会第1部 生命科学：「解剖生理学—人体の構造と機能」を参考テキストとして、毎回異なったテーマを選んでプリントを元に要約した講義を聴いて学んでいます。7月の講義は「**神経の伝導と伝達—神経伝達物質**」と題して、神経はどのようにして電圧インパルスがニューロンの軸索の中を電気信号として伝導するのか、またシナプスの末端では化学物質を放出して次のニューロンへ伝達するのかを詳しく学びました。放出された化学物質が、次のシナプスのレセプター(受容体)にはまり込むと信号は繋がっていきます。

例会第2部 哲学と宗教：「物質と記憶」ベルクソン著 合田正人・松本力訳(筑摩書房文庫本)をテキストに輪読していますが、日本語訳が難しいので、田島節夫訳をプリントして読むことにしました。田島節夫訳のプリントは用意して配付します。次回の輪読の例会は10月3日(土)で「物質の問題への移りゆき」(P78)から輪読します。

H27年8月の例会は、夏期研修発表会を10:00～17:35に行い、岡田先生と8名の発表を聴講しました。参加者は16名でした。また昼食時は懇親会を開催しました。

H27年9月の例会は、19日(土)13:30から小講義室で開催します。岡田先生の生命科学の講義、夏期研修会で発表出来なかった1件の発表、夏期研修会の反省会・今後の方向などについて討議をします。哲学ベルクソンの輪読はお休みとします。

H27年度第2学期の例会予定： 10月3日(土)、11月14日(土)、12月5日(土)、H28年1月9日(土)、2月6日(土)、3月5日(土)、すべて実験室(小講義室の奥)で開催し、時間は14:00～15:30とします。講義室と時間の変更にご注意ください。なお11月14日(土)はオープンサークルとして会員以外の方でも自由に体験学習が出来ます。